

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
	名称	株式会社 大内町交流センター			電話番号	0184-62-1126			
	所在地	秋田県由利本荘市岩谷町字西越36番地			FAX番号	0184-62-1125			
	設立年月日	平成11年5月28日			HPアドレス	http://www.popolocco.com/			
2 資本金		86,400千円	市出資金	44,000千円	市出資割合	50.9 %			
3 事業内容		1. 道の駅「おおうち」関連施設の管理運営(大内総合交流ターミナル・温泉宿泊施設「ぽぽろっこ」(温泉宿泊、売店、レストラン)、大内多目的広場(グラウンドゴルフ)、大内交流広場、大内地場産業振興施設) 2. 道の駅「おおうち」に係る受託事業(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関する一切の事業							
4 財務状況(令和3年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	66,567	50,397	40,702		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	221,755	223,955	167,073
	負債	16,997	14,404	31,968		(内市からの補助金・指定管理料)	20,477	20,663	21,217
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 13,802	△ 13,194	△ 26,075
	純資産	49,570	35,993	9,733		当期純利益	△ 13,986	△ 13,378	△ 26,259
	利益剰余金	△ 35,480	△ 48,857	△ 75,117		減価償却前当期利益	△ 11,087	△ 10,242	△ 23,470
5 役職員の状況(令和3年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)			6 (退0)	正職員数(うち市出向者・退職者)			20 (退 0)		
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1)公的支援(令和3年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		0	0	1,026	コロナウイルス影響緩和対策補助金				
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		0	0	1,026					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		0	0	1,026					
【参考】指定管理料(税込)		22,115	22,525	22,015	道の駅周辺施設・地場産業振興施設				
(2)その他(令和3年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第22期決算報告書(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 2 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

株式会社 大内町交流センター

由利本荘市岩谷町字西越 3 6 番地

0 1 8 4 - 6 2 - 1 1 2 6

議案第1号 第22期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

事業報告書

第22期事業報告書

令和2年度は国内の新型コロナウイルスの感染が拡大し、4月の後半には緊急事態宣言が発令され大変な混乱と経済の停滞をもたらし、感染拡大の第一波、第二波と次々に押し寄せた一年でありました。今現在も先が見えない状況が続いております。

弊社の経営につきましては、4月25日より16日間、営業自粛要請を受けて休館休業いたしました。5月11日より営業再開しましたが、宿泊部門、宴会部門、入浴部門など全ての部門で大きな影響を受けました。

利用者総数 149,039 名 126,136 千円となり、昨年度より 56,762 名 69,461 千円の減少となりました。また、農産物直売所ひまわりと併せた館内利用者は 279,000 名となりました。部門別に前年度と比較しますと、宿泊部門で 12,672 千円の減、宴会部門では 38,171 千円の減、レストラン部門では 8,838 千円の減となりました。

経費面では、人員の削減などもあり、人件費 9,608 千円の減、一般業務費 8,128 千円の減となっております。減価償却費 2,789 千円、法人税 184 千円を計上し当期純損失 26,259 千円のマイナス決算となりましたことをご報告申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策としてフロント、レストラン、売店、宴会場、温泉大浴場に空気清浄機、アクリル板を設置し、お客様、スタッフの消毒、検温の徹底を行ってできる限りの対応をして参りました。

来る第23期につきましては、原資本が 9,733 千円となり、大変厳しい一年になると思われます。新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、現状に見合った会社全体のスリム化及び体質改善を図りコスト削減に全社員一丸となって取り組んで参ります。

株主の皆様には今後とも尚一層のご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社大内町交流センター

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	37,560,329	【 流 動 負 債 】	31,968,154
現 金	1,102,668	買 掛 金	2,175,194
預 金	30,298,184	未 払 金	6,948,750
売 掛 金	1,401,427	前 受 金	6,000
商 品	240,682	預 り 金	68,850
食 料 原 料	1,008,589	法 人 税 等 充 当 金	184,000
飲 料 原 料	258,415	【 固 定 負 債 】	22,585,360
貯 蔵 品	1,888,002	長 期 借 入 金	20,000,000
立 替 金	160,340	リ ー ス 負 債	2,585,360
仮 払 金	503,040	負 債 合 計	31,968,154
未 収 入 金	698,982	純 資 産 の 部	
【 固 定 資 産 】	4,141,233	【 株 主 資 本 】	9,733,408
(有 形 固 定 資 産)	3,865,233	資 本 金	86,400,000
建 物	1	(資 本 剰 余 金)	200,000
建 物 付 属 設 備	1,415,314	自 己 株 式 処 分 差 益	200,000
工 具 器 具 備 品	257,618	(利 益 剰 余 金)	△ 75,116,592
リ ー ス 資 産	2,192,300	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 75,116,592
(無 形 固 定 資 産)	216,000	自 己 株 式	△ 1,750,000
電 話 加 入 権	216,000		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	60,000		
差 入 保 証 金	50,000		
出 資 金	10,000	純 資 産 合 計	9,733,408
資 産 合 計	41,701,562	負 債 ・ 純 資 産 合 計	41,701,562

株式会社大内町交流センター

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
売 上 高	126,135,611	126,135,611
【 売 上 原 価 】		
期 首 棚 卸 高	2,048,061	
仕 入 高	33,331,182	
合 計	35,379,243	
期 末 棚 卸 高	1,507,686	33,871,557
売 上 総 利 益 金 額		92,264,054
【販売費及び一般管理費】		159,066,652
営 業 損 失 金 額		66,802,598
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	2,246	
指 定 管 理 収 入	20,494,022	
施 設 管 理 収 入	5,614,810	
そ の 他 委 託 収 入	2,085,732	
雑 収 入	12,740,855	40,937,665
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	210,463	210,463
経 常 損 失 金 額		26,075,396
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		26,075,396
都道府県民税及び市町村民税		184,000
当 期 純 損 失 金 額		26,259,396